

## 6. プログラム

共催：オーリンクプロテオミクス株式会社  
モーニングセミナー

8：20～8：50

司会：甲斐 渉      オーリンクプロテオミクス株式会社

MS-1 **Empowering oncology research with next-generation proteomics**

Renu Balyan

Scientific Liaison, APAC, Proteomic Sciences, Olink, part of Thermo Fisher Scientific

MS-2 **PEA 法を用いた膵がん早期発見のための血液バイオマーカーの探索**

加城 歩、本田 一文

日本医科大学大学院医学研究科生体機能制御学分野

共催：コニカミノルタ REALM 株式会社

12：20～13：10

ランチョンセミナー

司会：馬場 英司

九州大学 社会環境医学講座 連携腫瘍学分野

LS-1 **本邦初の RNA 解析搭載がん遺伝子パネル検査の使用経験と有用性の検討**

加藤 真吾

横浜市立大学附属病院・がんゲノム診断科

共催：東レ株式会社

13：25～15：15

特別シンポジウム

**難治がん早期診断に向けた米国と日本の取り組み**

司会：本田 一文

日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野

落谷 孝広

東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門

Plenary lecture／基調講演

**The Evolution of Cancer Biomarkers for Early Detection: Promises, Challenges and Hopes for the Future**

Sudhir Srivastava

Chief, Cancer Biomarkers Research Branch Division of Cancer Prevention, National Cancer Institute National Institutes of Health, Bethesda, MD, USA

S1 **リキッバイオプシーの開発に重要となる血液検体の品質管理について**

落谷 孝広

東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門

S2 **日本における膵癌早期診断ストラテジー**

北野 雅之

和歌山県立医科大学 第二内科

S3 **患者の視点から見た非侵襲的バイオマーカーによる膵癌早期診断の可能性と期待**

眞島 喜幸

NPO 法人パンキャンジャパン

S4 **膵がんの診断を補助する血液バイオマーカー apolipoproteinA2 isoforms の臨床開発**

加城 歩、本田 一文

日本医科大学大学院医学研究科生体機能制御学分野

2023 年度今井浩三賞受賞記念講演

16 : 00 ~ 16 : 30

司会：本田 一文 日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野

**質量分析技術を応用したがん診断マーカー開発**

植田 幸嗣

公益財団法人がん研究会 がんプレシジョン医療研究センター

Closing ・ 今井浩三賞表彰式

16 : 30 ~ 17 : 00

懇親会 ・ 優秀演題賞表彰式

17 : 30 ~

司会：内藤 寛 日本医科大学先端医学研究所 生体機能制御学部門  
植田 幸嗣 公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター

01-1★ 細胞外小胞に含まれるタンパク質 COPB2 の呼吸器疾患バイオマーカーとしての有用性の検討

○檀 裕治<sup>1)</sup>、松崎 潤太郎<sup>1)</sup>、藤田 雄<sup>2)</sup>、朝倉 啓介<sup>3)</sup>、大村 征司<sup>3)</sup>、山口 智子<sup>1)</sup>、落谷 孝広<sup>4)</sup>、齋藤 義正<sup>1)</sup>

1) 慶應義塾大学薬学部 薬物治療学講座、2) 東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 次世代創薬研究部、3) 慶應義塾大学医学部 外科学（呼吸器）、4) 東京医科大学 医学総合研究所

01-2★ ポドプラニンは大腸発癌早期の陰窩周囲線維芽細胞に発現する腫瘍マーカーである

○塚本 修一、児玉 貴之、西尾 真理、重岡 學、狛 雄一朗

神戸大学 大学院医学研究科 病理学講座病理学分野

01-3★ 血清 miRNA による口腔癌頸部リンパ節転移診断と後発転移予測法

○東 友太郎<sup>1)</sup>、中村 康大<sup>2)</sup>、高岡 亮太<sup>2)</sup>、野間 優作<sup>2)</sup>、山城 康太<sup>2)</sup>、横山 勢也<sup>3)</sup>、濱田 倫史<sup>4)</sup>、杉浦 剛<sup>1)</sup>

1) 東北大学大学院歯学研究科病態マネジメント歯学講座顎顔面口腔腫瘍外科学分野、2) 鹿児島大学医学総合研究科顎顔面機能再建学講座顎顔面疾患制御学分野、3) 鹿児島大学医歯学域医学系 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻 腫瘍学講座、4) 社会医療法人 博愛会 相良病院 歯科口腔外科

01-4★ PSAT1 を介した EV 分泌が促進するがん転移機構と転移リスク診断としての有用性の検討

○山元 智史<sup>1,2,3)</sup>、山本 雄介<sup>2)</sup>、石井 明子<sup>1)</sup>、落谷 孝広<sup>3)</sup>

1) 国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部、2) 国立がん研究センター 病態情報学ユニット、3) 東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門

01-5★ 血中 N 末端 CTGF 断片は慢性膵炎の新規バイオマーカーになる

○森島 尚紀<sup>1)</sup>、鎌田 佳宏<sup>2)</sup>、太田 陽代里<sup>1)</sup>、近藤 純平<sup>1)</sup>、江口 英利<sup>3)</sup>、熊田 卓<sup>4)</sup>、三善 英知<sup>1)</sup>

1) 大阪大学大学院医学系研究科 分子生化学、2) 大阪大学大学院医学系研究科 生体医用工学、3) 大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科、4) 岐阜協立大学

01-6★ 膵がん細胞におけるプロハプトグロビンの生物学的機能の解明

○中山 穂香、近藤 純平、左近 太佑、林原 歩武、大山 航季、松本 夢雅、高松 真二、三善 英知  
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体病態情報科学

**02-1★ リン酸化プロテオーム解析を用いた osimertinib 耐性後の新規治療標的の探索**

○戸塚 猛大<sup>1)</sup>、野呂 林太郎<sup>1)</sup>、吉田 圭介<sup>2)</sup>、高橋 聡<sup>1)</sup>、平尾 真李子<sup>1)</sup>、松田 久仁子<sup>1)</sup>、加藤 泰裕<sup>1)</sup>、中道 真仁<sup>1)</sup>、武内 進<sup>1)</sup>、松本 優<sup>1)</sup>、宮永 晃彦<sup>1)</sup>、功刀 しのぶ<sup>4)</sup>、本田 一文<sup>2,3)</sup>、足立 淳<sup>5)</sup>、清家 正博<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学大学院 医学研究科 呼吸器内科学分野、2) 日本医科大学大学院 医学研究科 生体機能制御学分野、3) 日本医科大学 先端医学研究所、4) 日本医科大学 解析人体病理学、5) 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

**02-2★ 大腸癌の術後再発モニタリングのためのメチル化 ctDNA assay の有用性の検討**

○大町 一樹<sup>1)</sup>、大楽 勝司<sup>1)</sup>、中野 貴文<sup>2)</sup>、安藤 由貴<sup>1)</sup>、津田 康雄<sup>1)</sup>、大津 甫<sup>1)</sup>、米村 祐輔<sup>1)</sup>、三森 功士<sup>1)</sup>

1) 九州大学別府病院 外科、2) 東京慈恵会医科大学付属病院 外科

**02-3★ 肝臓がん患者における血中循環 “細菌由来 RNA” プロファイルの特徴**

○大嶋 一輝<sup>1)</sup>、松崎 潤太郎<sup>1)</sup>、中山 淳<sup>2)</sup>、津川 仁<sup>3)</sup>、山本 雄介<sup>4)</sup>、加藤 健<sup>5)</sup>、落谷 孝広<sup>6)</sup>、齋藤 義正<sup>1)</sup>

1) 慶應義塾大学 薬学部 薬物治療学講座、2) 大阪国際がんセンター 腫瘍増殖制御学部、3) 東海大学医学部 生体防御学領域、4) 国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット、5) 国立がん研究センター 中央病院、6) 東京医科大学 医学総合研究所

**02-4★ 血液中の循環がん関連線維芽細胞 (cir-CAF: circulating cancer-associated fibroblasts) 同定による胃癌診断の有用性**

○丸尾 晃司<sup>1,2,3)</sup>、八代 正和<sup>1,2,3)</sup>、塚田 悠貴<sup>2,3)</sup>、川畑 杏佳<sup>2,3)</sup>、西窪 日菜乃<sup>2,3)</sup>、山本 百合恵<sup>2,3)</sup>、佐野 智弥<sup>1,2,3)</sup>、今西 大樹<sup>1,2,3)</sup>、佐久間 崇<sup>1,2,3)</sup>、福岡 達成<sup>1,2,3)</sup>、前田 清<sup>1)</sup>

1) 大阪公立大学大学院 消化器外科学、2) 大阪公立大学大学院 癌分子病態制御学、3) 大阪公立大学大学院 難治癌 TR センター

**02-5★ ApoA2-i 濃度測定による膵癌リスク疾患絞り込みと IPMN 悪性化リスク層別化の検討**

○北村 倫香<sup>1)</sup>、糸川 典夫<sup>1)</sup>、加城 歩<sup>2)</sup>、小谷野 香織<sup>1)</sup>、長谷川 雄太<sup>1)</sup>、新井 泰央<sup>1)</sup>、金子 恵子<sup>1)</sup>、厚川 正則<sup>1)</sup>、岩切 勝彦<sup>1)</sup>、本田 一文<sup>2)</sup>

1) 日本医科大学付属病院 消化器肝臓内科、2) 日本医科大学大学院医学研究科 生体機能制御学分野

一般演題3 ※★は奨励賞応募演題です。

10:40 ~ 11:25

司会：中面 哲也 国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野  
西塚 哲 岩手医科大学医歯薬総合研究所 医療開発研究部門

03-1★ プロハプトグロビンは腸管上皮特異的に産生され、IBD の内視鏡代替マーカーとなる

○左近 太佑、中山 穂香、松本 夢雅、高松 真二、近藤 純平、三善 英知  
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体病態情報科学講座分子生化学教室

03-2★ 分子マーカー発現による口腔扁平上皮癌の遠隔転移性の生物学的判定について

○嶋根 哲<sup>1,2)</sup>、永田 昌毅<sup>3)</sup>、  
高精度分子診断に基づく高播種性・難治性口腔扁平上皮癌に関する研究グループ<sup>4)</sup>、栗田 浩<sup>1)</sup>  
1) 信州大学医学部歯科口腔外科教室、2) 長野県厚生連篠ノ井総合病院 歯科口腔外科、  
3) 新潟大学医歯学総合病院 高度医療開発センター 先進医療課医学部門、  
4) 高精度分子診断に基づく高播種性・難治性口腔扁平上皮癌に関する研究グループ

03-3★ 舌扁平上皮癌患者における PD-L1 の発現に関与する因子の病理学的検討

○堀 千晶<sup>1)</sup>、小山 侑<sup>1)</sup>、小川 千晴<sup>1,2)</sup>、栗原 智尋<sup>1)</sup>、橋本 菜央<sup>1)</sup>、品川 翔太<sup>1)</sup>、岡崎 寛弥<sup>1)</sup>、  
菅原 圭亮<sup>1)</sup>、片倉 朗<sup>1)</sup>  
1) 東京歯科大学 口腔病態外科学講座、2) 沖縄県立中部病院 歯科口腔外科

03-4★ CAFs 関連遺伝子 *C15* の結腸癌間質における発現と悪性度亢進の分子機序

○岡本 陸<sup>1)</sup>、渡部 晃子<sup>1)</sup>、柴木 俊平<sup>1)</sup>、内藤 可奈子<sup>1)</sup>、箕浦 宏之<sup>1)</sup>、池村 京之介<sup>1)</sup>、奥野 晃太<sup>1)</sup>、  
黒田 悠<sup>1)</sup>、大木 慶子<sup>1)</sup>、木立 光祈子<sup>1)</sup>、藤野 史織<sup>1)</sup>、贅 裕亮<sup>1)</sup>、比企 直樹<sup>2)</sup>、山下 継史<sup>1)</sup>  
1) 北里大学医学部新世紀医療開発センター先進外科腫瘍学、2) 北里大学医学部上部消化管外科学

03-5★ 癌細胞とマクロファージとの相互作用によって活性化する CCL2/CCR2 経路は肝細胞癌の進展を促進する

○石原 伸朗<sup>1,2)</sup>、狛 雄一朗<sup>1)</sup>、大森 将貴<sup>1,2)</sup>、鳥越 陸矢<sup>1,3)</sup>、横尾 拓樹<sup>1,3)</sup>、中西 崇<sup>1,3)</sup>、  
山中 啓太郎<sup>1,4)</sup>、塚本 修一<sup>1)</sup>、児玉 貴之<sup>1)</sup>、西尾 真理<sup>1)</sup>、重岡 学<sup>1)</sup>、福本 巧<sup>2)</sup>  
1) 神戸大・院医・病理学、2) 神戸大・院医・肝胆膵外科学、3) 神戸大・院医・食道胃腸外科学、  
4) 神戸大・院医・産科婦人科学

**04-1★ 任意型健診におけるピロリ抗体検査および感染歴の問診結果に応じた胃癌スクリーニングの実際**

○後藤 千尋<sup>1,2,3)</sup>、中川 良<sup>1,2,3)</sup>、加藤 直也<sup>1)</sup>

1) 千葉大学医学部附属病院消化器内科、2) 千葉大学医学研究院次世代予防医療創生講座、

3) 医療法人大宮シテイクリニック

**04-2★ トリプルネガティブ乳癌細胞株における Cysteine dioxygenase type1 (CDO1) 遺伝発現と乳癌進展メカニズムの解明**

○藤野 史織<sup>1)</sup>、岡本 陸<sup>1)</sup>、内藤 可奈子<sup>1)</sup>、柴木 俊平<sup>1)</sup>、箕浦 宏之<sup>1)</sup>、池村 京之介<sup>1)</sup>、

奥野 晃太<sup>1)</sup>、黒田 悠<sup>1)</sup>、大木 慶子<sup>1)</sup>、木立 光祈子<sup>1)</sup>、渡部 晃子<sup>1)</sup>、贄 裕亮<sup>1)</sup>、三階 貴史<sup>2)</sup>、

比企 直樹<sup>3)</sup>、山下 継史<sup>1)</sup>

1) 北里大学医学部 新世紀医療開発センター先進外科腫瘍学、2) 北里大学医学部 乳腺・甲状腺外科、

3) 北里大学医学部 上部消化管外科学

**04-3 1分子レベルの酵素活性解析に基づく疾患診断技術の開発**

○小松 徹<sup>1)</sup>、坂本 眞伍<sup>1)</sup>、水野 忠快<sup>1)</sup>、奈良 聡<sup>2)</sup>、森実 千種<sup>3)</sup>、肱岡 範<sup>3)</sup>、加城 歩<sup>4)</sup>、  
本田 一文<sup>4)</sup>、渡邊 力也<sup>5)</sup>、浦野 泰照<sup>1,6)</sup>

1) 東京大学大学院薬学系研究科、2) 国立がん研究センター中央病院肝胆膵外科、

3) 国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科、4) 日本医科大学大学院医学研究科、5) 理化学研究所、

6) 東京大学大学院医学系研究科

**04-4 大腸癌における抗 EGFR 治療中の cfDNA を用いた HER2 増幅の経時的変化**

○松井 隆典、山田 岳史、上原 圭、松田 明久、進士 誠一、横山 康行、高橋 吾郎、岩井 拓磨、

宮坂 俊光、香中 伸太郎、林 光希、吉田 寛

日本医科大学付属病院 消化器外科

**04-5 後方ライン化学療法から鑑みる進行再発大腸癌におけるリキッドバイオプシーの有用性**

○太田 竜<sup>1)</sup>、山田 岳史<sup>2)</sup>、谷合 信彦<sup>1)</sup>、吉田 寛<sup>2)</sup>

1) 日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科、2) 日本医科大学付属病院 消化器外科

司会：山下 継史 北里大学医学部新世紀医療開発センター 先進外科腫瘍学  
吉岡 祐亮 東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門

**05-1 ミトコンドリア内 1 炭素代謝は乳癌の腫瘍形成と肺転移を促進する**

○本宮 綱記<sup>1)</sup>、Yuming Wang<sup>1)</sup>、西村 建徳<sup>1)</sup>、大黒 多希子<sup>2)</sup>、八尾 良司<sup>3)</sup>、香城 諭<sup>4)</sup>、渡会 浩志<sup>4)</sup>、曾我 朋義<sup>5)</sup>、後藤 典子<sup>1,6)</sup>

1) 金沢大学がん進展制御研究所 分子病態研究分野、2) 金沢大学疾患モデル総合研究センター 疾患モデル分野、3) がん研究会がん研究所 細胞生物部、4) 金沢大学医薬保健研究域医学系 幹細胞免疫制御学分野、5) 慶應義塾大学 先端生命科学研究所、6) 金沢大学 新学術研究創成機構

**05-2 複数のがん共通抗原を標的としたがんワクチン及び CAR/TCR-T 細胞療法の開発のための免疫組織化学的解析**

○中面 哲也、竹之内 一政

国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野

**05-3 PD-L1 の超高感度 ELISA 測定 (TN-cyclon™)**

○伊藤 悦朗<sup>1,2)</sup>、沖田 匡<sup>1)</sup>、佐藤 朱音<sup>1,2)</sup>、園田 光<sup>3)</sup>

1) 早稲田大学 大学院先進理工学研究科 生命理工学専攻、2) 株式会社 BioPhenoMA、3) 株式会社ハカレル

**05-4 思いがけないラットの肝化学発がんイニシエーションの分子細胞機構**

佐藤 公彦

秋田看護福祉大学 医療福祉学科

**05-5 アポリポ蛋白 A2 アイソフォームによる膵外分泌機能モニタリングを用いた膵切除術後非アルコール性脂肪肝の発症予測**

○松下 晃<sup>1)</sup>、大野 崇<sup>1)</sup>、濱口 暁<sup>1)</sup>、川島 万平<sup>2)</sup>、上田 純志<sup>1)</sup>、清水 哲也<sup>1)</sup>、川野 陽一<sup>1)</sup>、中村 慶春<sup>2)</sup>、長谷川 雄太<sup>3)</sup>、糸川 典夫<sup>3)</sup>、加城 歩<sup>4)</sup>、本田 一文<sup>4)</sup>、吉田 寛<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学消化器外科、2) 日本医科大学千葉北総病院外科、3) 日本医科大学消化器・肝臓内科、4) 日本医科大学大学院医学研究科生体機能制御学分野